

# 22年度高校海外修旅の公・私立別実施状況

全国修学旅行研究協会  
(全修協・中西朗理事長)  
がこのほどまとめた「平成22年度全国公私立高等学校海外修学旅行・海外研修(修学旅行外)実施状況調査報告」から、同年度の高校海外修学旅行の公立、私立別実施状況を紹介する。

国、オセアニア、中国、北アメリカが増加している。台湾は減少している。増加となった東南アジアは106校、1万547万8225人が訪問した。参加校、参加人数と中学校の状況(参考)

132件増と、いずれも増加している。旅行先(延べ数)では、33カ国・地域に672校、1万3924人が多い。

万778人、オセアニア139校、1万7197人、東南アジア121校、公立中学校は12都府県で実施され、西日本(京都、福岡、高知)、中部(静岡)、関東(東京、山梨)、東北(秋田、福島)地方の学校が多い。

私立91校、7418人(10校、700人)が最も多く、日数は4〜5日間が最も多い。次いでオセアニア方面(7校、359人)で日数は7〜8日間が多い。

旅行方面は、公立は韓国(10校、700人)が最も多く、日数は4〜5日間が最も多い。次いでオセアニア方面(7校、359人)で日数は7〜8日間が多い。

## 公立高等学校

307校が実施し、4万2459人が参加した。旅行実施件数は333件だった。

前年度より、実施校数で58校、参加生徒数で7084人、旅行実施件数で67件増加している。

旅行先(延べ数)では、17カ国・地域に363校、4万6479人が訪問した。実施校数、参加生徒数ともに東南アジア、韓国、オセアニア、中国、台湾が増加している。

## 全修協調査

# 校数、人数とも増加

## 公立アジア、私立は北米多い

### 私立高等学校

422校が実施し、7万110人が参加した。旅行実施件数は605件だった。

前年度より、実施校数では8・1%、私立高校では31・9%の実施率だった。旅行件数は938

件にのぼる。前年度と比べ、実施校数143校増、旅行件数199件増、参加生徒数2万4686人増。いずれも大幅に増加している。

33カ国・地域に1035校、12万4704人が訪問し、2万9415人、北アメリカ230校、2万7879人だった。2009年に発症した「新型コロナウイルス」が終息し、渡航が回復したものに増加した。主要方面と

旅行先(延べ数)では、増加した。主要方面と

